

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

た か は し じ ゅ ん
高 橋 純

東京学芸大学教育学部 准教授



略歴

1998年 園田学園女子大学情報教育センター・助手(1999年まで)
2002年 富山大学教育学部・講師
2006年 富山大学人間発達科学部・助教授
2007年 富山大学人間発達科学部・准教授(2015年まで)
2007年 独立行政法人メディア教育開発センター・客員准教授(2009年まで)
2008年 富山県総合教育センター・客員教授(2015年まで)
2008年 上越教育大学・客員研究員(2011年まで)
2015年 東京学芸大学・准教授

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

2015年度に助言を行っている教育委員会・学校等

- ・北海道教育委員会
- ・富山県総合教育センター
- ・富山市教育センター
- ・富山市立芝園小学校
- ・富山大学人間発達科学部附属小学校
- ・札幌市立幌西小学校
- ・春日井市立出川小学校
- ・江東区立小名木川小学校
- ・広島市立大洲中学校
- ・坂井市立春江中学校

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・わかりやすい授業づくりのためのICT活用に関する研究
- ・NHK「さんすう刑事ゼロ」デジタルコンテンツ作成監修
- ・独立行政法人教員研修センター教育課題研修指導者海外派遣プログラムシニアアドバイザー(学校教育の情報化・ICT活用)
- ・財団法人 コンピュータ教育開発センター「学校教育現場におけるテレワークシステムの実証実験に関わる委員会」委員長
- ・日本教育工学協会・理事

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校

対応可能な業務内容

- ・ICTを活用した授業づくりに関する助言
- ・体験型教員研修づくりに関する助言
- ・デジタルコンテンツ作成に関する助言
- ・ICT学習環境の構築に関する助言等
- ・1人1台の情報端末活用に関する助言

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)
- ・文部科学省「教育の情報化に関する手引」作成検討会・委員

関連URL

<http://takalab.net/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

た ま お き た か し
玉 置 崇

岐阜聖徳学園大学 教授



略歴

- ・昭和54年4月 小牧市立米野小学校教諭
- ・昭和57年4月 小牧市立味岡中学校教諭
- ・平成02年4月 愛知教育大学附属名古屋中学校文部教官
- ・平成08年4月 小牧市立桃陵中学校教諭
- ・平成10年4月 小牧市立小牧中学校教頭
- ・平成16年4月 小牧市立光ヶ丘中学校長
- ・平成19年4月 愛知県教育委員会義務教育課指導主事
- ・平成20年4月 愛知県教育委員会義務教育課主査
- ・平成22年4月 愛知県教育委員会海部教育事務所長
- ・平成24年4月 小牧市立小牧中学校長
- ・平成27年4月 岐阜聖徳学園大学教授

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

愛知県小牧市小中学校における校務の情報化推進のために委員や委員長として20年間ほど従事
市町村教育委員会の依頼を受けての管理職対象の講演多数(校務の情報化で学校が変わるなど)
市町村教育委員会等の依頼を受けての教員向けICT活用の講演多数

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

文部科学省、プリティッシュ・カウンシル「国際シンポジウム ICTを活用した豊かな教育環境と学校の役割」で講演
「情報化時代の学校変革カーオピニオンリーダーからの提言」(共著・平成20年・高陵社書店) 発刊
「玉置流学校が元気になるICT活用術ーICTは学校力向上ツールー」(単著・平成23年・プラネクサス) 発刊
「ちょっとした工夫でもっと注目される学校ホームページ」(編著・平成23年・教育開発研究所) 発刊
「思いを届ける学校ホームページ」(共著・平成27年・プラネクサス) 発刊

対応可能学校種

小・中学校

対応可能な業務内容

管理職として校務の情報化推進についてどうあるべきかを体験をもとに講演
校内において校務の情報化推進のための助言や講演
授業におけるこれからのICT活用についての助言や講演
情報化を推進するリーダー対象としての指導助言
教育行政としての公務の情報化推進のための体制づくりなどを体験をもとに助言

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

文部科学省「教育の情報化に関する手引」作成検討会構成員(平成21年)
文部科学省「学校教育の情報化に関する懇談会」委員(平成22年)
文部科学省「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会 スマートスクール構想検討ワーキンググループ」委員(平成28年)
日本教育工学協会理事(平成28年～平成29年)
日本教育工学協会 学校情報化認定委員会委員(平成28年～平成29年)
学習工学研究会副会長(平成27年～)

関連URL

岐阜聖徳学園 玉置研究室HP
<http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2190001>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

つじ しんいちろう
辻 慎 一 郎

鹿児島県薩摩川内市立川内中央中学校
校長



略歴

- 昭和61年4月～ 鹿児島県公立中学校教諭・教頭
- 平成4年頃～ インターネット活用の授業実践研究を始める
研究テーマ「郷土を見つめ世界へ伝えるインターネット活用」
- 平成16年4月～ 鹿児島県松山町及び志布志市教育委員会指導主事
- 平成19年4月～ 鹿児島県教育庁義務教育課指導主事
- 平成22年4月～ (独)教員研修センター(東京事務所)主幹
教員研修企画運営(担当:学校教育の情報化指導者養成研修, 他)
- 平成25年4月～ 鹿児島県教育庁義務教育課主任指導主事兼企画生徒指導係長
(担当:教員研修, 生徒指導, 学校教育の情報化等)
- 平成28年4月～ 鹿児島県薩摩川内市立川内中央中学校校長

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・平成27年度文部科学省ICT活用教育支援アドバイザー
- ・平成18年度文部科学省委託事業「情報モラル等の指導を普及するフォーラム開催委員会委員」
- ・平成16年度ITを活用した指導の拡充のための指導者の養成を目的とした研修講師((独)教員研修センター・北海道地区・九州地区)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・平成22年4月から平成25年3月まで、(独)教員研修センターにおいて、「学校教育の情報化指導者養成研修」の企画及び運営に携わる
- ・平成27年度「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」鹿児島県担当者
- ・平成27年度(独)教員研修センター「学校教育の情報化指導者養成研修」講師
- ・平成18年度教育情報共有化促進モデル事業(e-教員プロジェクト)志布志市教育委員会担当
『使えるようになるためのパソコンQ&A』(ポプラ社) 単著
『インターネットとプライバシー』(ポプラ社) 共著
『情報活用能力を伸ばす』(ぎょうせい) 分担執筆
『情報倫理学入門』(ナカニシヤ出版) 分担執筆

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- ・モデル事業の計画作成
- ・モデル校教員のICT活用指導力向上のための研修(研修計画策定を含む)
- ・授業への導入事例及びICT活用の普及方策

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・平成12年度 文部省調査研究委託事業「学校におけるモラルセキュリティ指導事例集」作成委員会委員
- ・平成18年度 文部科学省委託事業「情報モラル等の指導を普及するフォーラム開催委員会委員」
- ・平成9年度 第3回コンピュータ教育実践賞最優秀賞(小学館主催)

関連URL

<https://www.facebook.com/shinichiro.tsuji.12>

I C T活用教育支援アドバイザープロフィール

て づ か か ず よ し
手 塚 和 貴

北海道教育庁総務政策局
教育政策課主幹(情報化推進)



略歴

- 平成8年3月 早稲田大学法学部卒
- 平成8年4月 北海道教育委員会
- 平成14年4月 地方行政実務研修生(文化庁文化財部伝統文化課派遣(～平成17年3月))
- 平成22年4月 総務政策局総務課予算グループ主査
- 平成24年4月 文部科学省初等中等教育企画課専門職(教育公務員係)(～平成26年3月)
- 平成26年4月 総務政策局教育政策課主幹

過去のI C T教育に関するアドバイザー対応実績

特になし

これまでの研究活動、I C T教育に関する経験業務

平成23年度 校務支援システム予算要求事務
平成26年度から 教育の情報化担当
平成28年度「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」成果取りまとめに関する調査研究」の委託先選定に係る技術審査員
平成28年度 次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース有識者
平成28年度 「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」スマートスクール構想検討ワーキンググループ委員

対応可能学校種

小中高

対応可能な業務内容

校務の情報化(共同利用型校務支援システムの導入について)

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

平成28年度「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」成果取りまとめに関する調査研究」の委託先選定に係る技術審査員
平成28年度 次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース有識者
平成28年度 「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」スマートスクール構想検討ワーキンググループ委員

関連URL

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

て ら し ま こ う す け
寺 嶋 浩 介

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科 准教授

略歴

大阪教育大学大学院・連合教職実践研究科・准教授。関西大学大学院総合情報学研究科を修了後、京都外国語大学国際言語平和研究所にて研究員として約2年間勤務。その後、約10年間の長崎大学教育学部での勤務を経て、2015年1月より現職。専門分野は教師教育学(特に教育工学, メディア教育)。

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・高槻市立芝谷中学校, 多摩市立愛和小学校(パナソニック教育財団特別研究指定校)
- ・多久市立西溪小中学校, 長崎市立鳴見台小学校(DISスクールイノベーションプロジェクト校)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・タブレット型端末を活用する学校への指導助言
- ・デジタルコンテンツの利活用に関する指導助言
- ・ICT活用指導力と教員養成カリキュラムの開発

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- ・タブレット型端末を活用した授業に取り組む学校への指導助言
- ・デジタルコンテンツの利活用に関する指導助言
- ・ICT活用を進める学校の構内研究に関する指導助言

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

文部科学省 電子黒板調査・企画委員会委員(2009.10.23-2010.3.31)
平成23年度文部科学省委託「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究」事業・協力委員(2011.9.-2012.3.)
平成24年度文部科学省委託「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究」企画委員

関連URL

<http://www.tera-lab.net/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

とよだ みちたか
豊田 充 崇

和歌山大学教育学部 教授



略歴

1999年 和歌山県美里町立美里中学校 教諭
2002年 和歌山大学教育学部 講師
2006年 和歌山大学教育学部 准教授
2015年 和歌山大学教育学部 教授

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター「教育の情報化プロジェクト」にてICT活用に関する出前授業・共同実践研究を実施
- ・和歌山市教育委員会客員指導主事として教育現場の情報化に関する指導にあたる
- ・パナソニック教育財団 専門員として特別研究指定校、研究助成校の指導にあたる
- ・文部科学省「学びのイノベーション事業」・総務省「フューチャースクール推進事業」委員
- ・大阪市学校教育ICT活用事業 アドバイザー

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

『ICT活用で中学校の授業が変わるー総合的な学力を育てるICT活用実践ー』高陵社、2005年
『ICTを活用した学び合い授業アイデアBOOK』明治図書、2014年
「ICT活用授業による学力向上効果の検証：長期・常時のICT活用授業における子ども・教師の変容を探る(1)(2)」和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要 17, 18(2007,2008)
「ICTを活用した学び合い授業の先進的な取り組み」視聴覚教育、2015年1月号
「情報化の状況を診断し対応策を示す学校情報化診断システムの開発」日本教育工学会論文誌:35巻、197-200、2011年
「中・高校生のスマートフォン・インターネット利用実態に関する調査研究」和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター紀要25、2015年

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校

対応可能な業務内容

- ・普通教室におけるICT環境整備およびタブレット端末等情報機器導入とその普及推進に関するアドバイス
- ・ICT活用における授業改善および学力向上方策に関する研究支援
- ・情報活用能力の育成、情報モラルの育成に関する授業研究およびカリキュラム研究

その他（表彰歴、国等の委員歴等）

- ・文部科学省 情報活用能力調査に関する協力者会議委員
- ・文部科学省 情報活用能力調査問題作成等委員
- ・日本教育工学会 教育の情報化SIG 部会長
- ・日本教育工学協会(JAET)学校情報化認定委員

関連URL

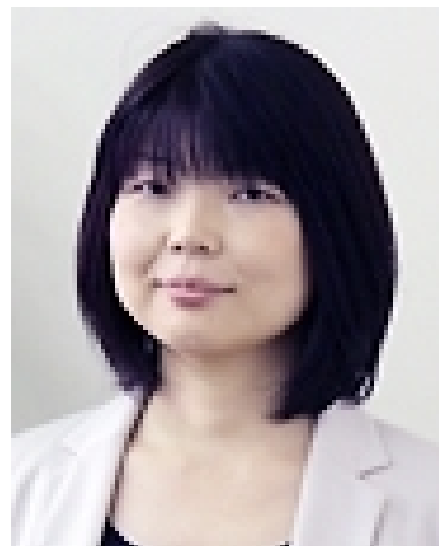
豊田研究室ウェブサイト <http://www.wakayama-u.ac.jp/~toyoda/>

※上記以外の教育・研究業績については下記URLを参照してください。
http://wakarid.center.wakayama-u.ac.jp/ProfileRefRes_2275.html#tl

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

ながた と も こ
永 田 智 子

兵庫教育大学大学院 准教授



略歴

1995年 大阪大学大学院 人間科学研究科 前期課程修了
1996年 兵庫教育大学 学校教育学部 助手
2000年 博士(人間科学)(大阪大学)取得
2005年 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 講師
2006年 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 助教授
2007年- 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 准教授

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

2013年- 大阪市学校教育ICT活用事業コーディネーター
2014年 奈良市教育ICT戦略会議委員
2013年- 公益財団法人パナソニック教育財団専門委員
2010-2014年 兵庫県立教育研修所 授業におけるICT活用実践講座等講師
2011-2014年 和歌山みらい学校事業推進協議会委員

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

・森山潤・山本利一・中村隆敏・永田智子編著(2013)『iPadで拓く学びのイノベーション』高陵社書店
・永田智子・鈴木千春(2015)小学校家庭科「家庭での実践」学習におけるタブレット端末活用の効果, 教育メディア研究, 第21巻第2号, 39-50
・鈴木千春・永田智子(2013)小学校家庭科ガイダンス授業のためのデジタル絵本教材の開発, 日本教科教育学会誌, 36(1), 21-31
・藤原典英・永田智子(2010)授業での電子黒板活用に資する校内研修パッケージの開発, 日本教育工学論文誌, 第33巻 Suppl.号, 149-152
・鈴木真理子・永田智子・西森年寿・望月俊男・笠井俊信・中原淳(2010)授業研究ネットワーク・コミュニティを志向したWebベース「eLESSER」プログラムの開発と評価, 日本教育工学会論文誌, Vol.33, No.3, 219-227
・稲垣忠・永田智子・豊田充崇・梅香家絢子・佐藤喜信・赤堀侃司(2009)電子黒板の普及促進を目的とした活用モデルの開発, 教育メディア研究, Vol.16, No.1, 53-64

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校

対応可能な業務内容

自治体によるモデル事業の実践に関する事項

ア) 効果検証の方法

イ) モデル事業の計画作成

ウ) モデル校教員のICT活用指導力の向上のための研修(研修計画策定を含む)

エ) 授業への導入事例及びICT活用の普及方策

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

関連URL

<http://www.life.hyogo-u.ac.jp/tnagata/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

な か は し ゆ う
中 橋 雄

武蔵大学社会学部 教授



略歴

2004年3月 関西大学大学院 総合情報学研究科 博士課程後期課程 修了
博士(情報学)
2004年4月 福山大学人間科学部専任講師
2008年4月 武蔵大学社会学部准教授
2011年4月 武蔵大学社会学部教授

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

2010～2014年度 葛飾区立本田小学校(総務省「フューチャースクール推進事業」文部科学省「学びのイノベーション事業」実証校) ICTを活用した協働教育実践に関する指導助言者
2010～2015年度 綾瀬市立綾北小学校 情報教育の実践に関する指導助言者
2010～2012年度 練馬区立豊玉中学校 ICTを活用した実践に関する指導助言者
2014～2015年度 柏市立大津ヶ丘第一小学校(パナソニック教育財団ワンダースクール応援プロジェクト実践校) 普通教室一人一台タブレット端末環境における実践に関する指導助言者
2013年度 北区学校ICT活用推進研究委員会委員 「北区ICTビジョン」作成に関する助言 など

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

・『電子黒板が創る学びの未来—新学習指導要領 習得・活用・探究型学習に役立つ事例50』
中川一史・中橋 雄(編)、ぎょうせい、2009年(共著)
『ICTで伝えるチカラ 50の事例』 中川一史(監)、フォーラム・A、2013年(共著)
・『タブレット端末で実現する協働的な学び xSync シンクロする思考』
中川一史・寺嶋浩介・佐藤幸江(編)、フォーラムA、2014年(共著)
・『つなぐ・かかわる授業づくり: タブレット端末を活かす実践52事例 (Gakken ICT Books)』
D-project編集委員会(編)、学研教育出版、2014年(共著)
・『メディア・リテラシー論 ソーシャルメディア時代のメディア教育』中橋 雄、北樹出版、2014年(単著) など

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校

対応可能な業務内容

・ICT環境を活かした授業デザイン、実践研究に関する指導・助言
・推進計画の策定、効果検証方法、自治体のニーズに応じた導入機器の選定に関する助言

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

2010年度 文部科学省「英語をはじめとする先導的デジタル教材の開発」研究開発委員会 委員(学習研究社より委嘱)
2012年度 一般財団法人日本視聴覚教育協会 平成24年度 文部科学省委託「国内のICT 教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業」専門委員 など

関連URL

<http://media.xii.jp>
https://up.musashi.ac.jp/pfm/japanese/researchersHtml/RT3D08005/RT3D08005_Researcher.html

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

な か む ら た け ひ ろ
中 村 武 弘

三重県南伊勢町立南勢小学校 校長
三重県教育工学研究会 会長
教育情報化コーディネーター2級(ITCE2)の会会長



略歴

- ・1982.4 大阪府堺市公立小学校 教諭
- ・1987.4 三重県公立小学校 教諭
- ・1992.3 鳴門教育大学大学院学校教育研究科<修士課程>学校教育専攻教育方法コース修了
- ・1992.4 三重県公立小学校 教諭
- ・1997.4 三重県教育委員会(県総合教育センター)研修員をへて研修主事、主幹兼務
- ・2009.4 三重大学教育学部附属小学校 教頭
- ・2012.4 三重県度会郡公立小学校 校長として現任校は2校目となる

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・教員やICT支援員に対する授業展開や支援に関する研修会講師(豊田市教育委員会等多数)
- ・小学校の授業実践に関する指導(総合的な学習の時間、教科、指導方法、ICT活用に関する講師 年間10回以上)
- ・情報教育やICT活用の講座構築に関するアドバイス
- ・年間2回のICT活用を含めた教員研修のセミナーを主となって開催

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

独立行政法人教員研修センター 研修講座講師「情報教育」全国センター指導主事等対象
日本教育工学協会 理事、三重県教育工学研究会 会長
ICT活用授業実践講座講師(三重県、豊田市教育委員会、各市町村多数)

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

学校における講師及び教育委員会における教員研修講師
・情報教育、校務の情報化、ICT活用授業、校内研修の手法、マネジメント研修、授業研究方法
・情報教育、校務の情報化、ICT活用授業、校内研修に関する評価項目の作成
・情報教育、校務の情報化、ICT活用授業、校内研修に関する学習環境(施設や機器)の設計へのアドバイス

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

文部科学省平成22年度「教育情報化の手引き」作成委員
文部科学省学習指導要領改訂に係る協力員 専門教科「情報」
第14回上月情報教育賞 優良賞、情報教育への貢献「マイタウンマップ・マイスター」の受賞、業務委託事業主査
平成19年度文部科学省委託事業「管理職のための戦略的ICT研修カリキュラムの開発事業」委員

関連URL

<https://www.facebook.com/takehiro.nakamura.52>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

な か む ら ま り こ
中 村 真 理 子



滋賀県草津市教育委員会事務局学校政策推進課 副参事

略歴

滋賀大学大学院教育学研究科修了。滋賀県草津市立小学校の教員として平成22年度より、滋賀県総合教育センター情報教育分野の実証研究メンバーとなる。平成24年度より、草津市教育委員会事務局学校教育課専門員として、タブレットPCの導入に関わり、小中学校におけるICT機器の効果的な活用方法、教員への研修計画等を示した「草津市教育情報化推進計画」の策定等を手掛ける。

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

平成27年度 文部科学省 ICT活用教育アドバイザー

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

【教育委員会事務局 業務担当】

平成26年度文部科学省「ICTを活用した教育の推進に資する事業」

平成26,27,28年度総務省「クラウド等の最先端情報通信技術を活用した学習・教育モデルに関する実証」

平成27,28年度文部科学省「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」

平成28,29年度文部科学省「情報教育推進校(IE-School)調査研究 等

【事例発表】

平成26年教育家庭新聞社主催「第18回教育委員会対象セミナー」

平成27年第20回「NEW EDUCATION EXPO 2015」 等

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- ・ICT導入期における教育委員会の業務・対応について
- ・ICT活用リーダー等養成のための、教育委員会主催教員研修の策定・実施について
- ・「教育情報推進計画」等の策定・実施について

その他（表彰歴、国等の委員歴等）

関連URL

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

にしだみつあき
西田光昭

柏市立柏第二小学校 校長



略歴

- ・昭和54年 千葉県公立小学校教員(流山市立西深井小学校, 柏市立柏第一小学校, 富勢小学校, 柏第六小学校)
- ・平成10年 柏市立教育研究所 指導主事
- ・平成14年 千葉県公立小学校教諭(柏市立土南部小学校)
- ・平成20年 千葉県公立小学校教頭(柏市立田中小学校, 柏市立高田小学校)
- ・平成24年 千葉県公立小学校校長(柏市立中原小学校, 柏市立柏第二小学校)

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

H26 ICTを活用した教育の推進に資する実証事業 WG2:ICTの活用が最適な指導方法の開発 岡崎市, 大田原市, 新地町
H27 「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」(ICTを活用した学びの推進プロジェクト) 千葉市, 山江村, 人吉市

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

学校インターネット(先進的教育用ネットワークモジュール地域事業, マルチメディア活用学校間連携推進事業, 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業)柏地区事務局

千葉県教育情報ネットワーク 構築, 運用委員 並びに研修会講師

柏インターネットユニオン 理事 地域ネットワーク構築, 運用, ネットデイ等学校支援

柏市教育の情報化推進委員会 委員, 委員長 ICT環境の検討, 導入, 運用

柏市立教育研究所指導主事 ICT環境 導入, 構築, 運用 研修会講師

書籍

中学生のための「総合」アイデアBOOK(6)図書館とインターネットを使いこなそう—情報 2001年 ポプラ社

パソコンを活かそう 教育の情報化で生まれる“魅せる先生”—学校でのIT活用法を「知る」、パソコンを使って「作る」 2002年 インプレス

必携!教師のための学校著作権マニュアル 2006年 教育出版

対応可能学校種

小学校 中学校 (義務教育学校)

対応可能な業務内容

- ・自治体のニーズを洗い出し, その整理の上での教育の情報化を進める計画づくり
- ・教育の情報化をバランスよく進めるための, 段階的な取り組み
- ・学校のICT環境づくりにむけて, 現状を元に計画づくりと機器選定の視点づくり
- ・教育ネットワークづくりと運用, フィルタリングの生かし方。
- ・情報セキュリティ等の情報モラル指導の進め方
- ・ICT活用のための研修づくり
- ・機器が苦手な人も活用できるICT環境づくりと研修
- ・統合型校務支援システムを導入する際に検討しておくべきことと, 運用体制づくり

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

学校教育情報化推進総合プラン企画評価委員会委員 文部科学省

「教育の情報化に関する手引」作成検討会 委員 文部科学省

先端的な情報通信技術を活用した教育・学習に関する調査検討委員会 文部科学省

青少年のインターネット利用環境実態調査 企画分析会議委員 内閣府

2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会 委員 スマートスクールWG 委員 文部科学省

関連URL

<http://derek.jp/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

に っ た た だ し
新 田 正

京都市教育委員会事務局指導部
学校指導課 参与



略歴

- ・滋賀大学教育学部卒業後、京都市立小学校教諭(～H7.3)
- ・京都市教育委員会情報教育センター(現学校事務支援室)指導主事(～H13.3)
- ・京都市立小学校教頭(～H15.3), 校長(～H21.3)
- ・京都市教育委員会学校指導課首席指導主事(～H23.3)
- ・京都市教育委員会学校指導課統括首席指導主事(～H26.3)
- ・京都市教育委員会学校指導課参与(H26.4～現在)

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

市立小学校でのICTを活用した授業研究会の指導助言(H7～H12)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

京都市で最初のコンピュータ教育研究指定校において、「基礎学力を高めるための効果的な学習」を研究主題に「数と計算」・「図形」領域における学習支援ソフトの開発(S59/60) 小学校教育コンピュータ研究会(現京都市小学校情報教育研究会)の設立
全市立小中学校へのコンピュータ導入, 研修, 更新, 増設およびインターネット全校接続の業務
高等学校現職教員の「情報」免許状取得講習会講師
校務支援システムの導入, 運用(H25～現在) ※京都市では26年4月から全校で運用開始
校務支援システムに関する研修全般(校務支援システム担当者, 支部別, 職務別, 新任校長研修会等)

対応可能学校種

小学校・中学校

対応可能な業務内容

校務支援システムの円滑な導入, 運用を図るための教育委員会の業務・対応に関する助言
校務支援システムを活用した学校経営の改善(学校における校務支援システムの活用促進と課題等)

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

関連URL

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

の な か よ う い ち
野 中 陽 一

横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター
教授

略歴

1983年横浜国立大学教育学部卒業
1988年同大学院教育学研究科修士課程修了
横浜市立小学校教諭, 和歌山大学教育学部助教授を経て, 2008年より横浜国立大学教育人間科学部准教授, 2012年より同教授。



過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・和歌山大学教育学部附属小学校
- ・横浜市立立野小学校(パナソニック教育財団特別研究指定校)
- ・川崎市立平小学校(パナソニック教育財団特別研究指定校)
- ・横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校(フューチャースクール)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

小学校教諭時代には、情報教育の実践や学校のオープンスペースへのPCの分散配置による情報環境整備等に取り組んだ。大学では、教員養成におけるICT活用指導力の育成に関する研究、教室のICT環境構成に関する実践的な研究、教育の情報化の普及に関するモデルの開発等を行ってきた。ICT活用と学力との関連について、「教科活動におけるICT活用と学力・学習状況の関係に関する調査研究」(平成21年度文部科学省委託事業「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」)を行い、国語と算数において、授業におけるICT活用頻度と学力調査の正答率に相関があり、ICT環境が整備されているとさらに顕著な差が見られることを明らかにした。教育の情報化先進国である英国について、2000年以降継続的なフィールド調査により日英比較を行っている。英国における学校の情報化指標(Self Review Framework)を参考にして、日本版「学校情報化チェックリスト」を開発し、それを活用することによって日本教育工学協会の「学校情報化認定事業」を推進している。

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- ①ICT環境整備に関する事項
 - ア)教育情報化推進計画の策定
 - イ)教育の情報化推進に関する教員・庁内(首長・財政部局等)の理解促進活動
- ②自治体によるモデル事業の実践に関する事項
 - ア)効果検証の方法
 - イ)モデル事業の計画作成
 - ウ)モデル校教員のICT活用指導力の向上のための研修(研修計画策定を含む)
 - エ)授業への導入事例及びICT活用の普及方策

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

平成20年4月 文部科学省「教育の情報化に関する手引」作成検討会 委員(平成21年3月まで)
平成22年5月 文部科学省「学校教育の情報化に関する懇談会」委員(平成23年4月まで)
平成22年6月 総務省「ICTを利活用した協働教育推進のための研究会」委員(平成23年3月まで)
平成23年11月 学校教育の情報化指導者養成研修(独立行政法人教員研修センター)講師(現在に至る)

関連URL

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

ひらい そいういちろう
平井 聡 一 郎

古河市教育委員会 教育部指導課 参事兼課長



略歴

1984年茨城県の公立小学校に採用され、以後16年間県内小中学校で教諭として勤務。その間、黎明期の情報教育に関わる。2000年総和町教育委員会、2004年県教育庁義務教育課と8年間指導主事として技術・家庭科、情報教育を主に担当する。2008年筑西市立下館南中教頭、2012年古河市立古河第五小学校校長として管理職を経験の後、2014年現職である古河市教育委員会指導課長となる。また、2006年より茨城大学教育学部非常勤講師として勤務する。

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

茨城県教育庁勤務の4年間、県内小中学校における、情報教育に関する教員研修の企画及び実施にあたり、教員研修、機器整備に関して、市町村教育委員会への指導助言にあたる。

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

1998年、勤務校である千代川村立千代川中学校新築に際し、ネットワーク環境構築に関わり、小中学校では日本で初めてのクラウドプラットフォームを導入した。2006年には県内の市町村教育委員会のICT機器整備担当者研修会を立ち上げ、指導主事と総務課等職員との連携体制の構築に取り組んだ。2012年に古河第五小学校に赴任後、古河市のICT教育モデル校として、タブレットを中心としたICT機器を活用した授業モデルと機器整備モデルの実証研究に取り組み、2014年より古河市教育委員会指導課長として、古河市のICT機器の整備に取り組んでいる。ここでは、市町村単位では全国初となる、セルラーモデルタブレットとクラウドプラットフォームの環境を実現した。

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校、中等学校

対応可能な業務内容

- ・地域の実態に応じた、段階的な機器整備モデルの構築への助言指導
 - ・目指す授業モデルと連動した、効果的、効率的なICT機器整備に関する指導助言
 - ・段階的なICT機器整備と連動した教育研修体制の構築に関する指導助言
- ※小さく始めて大きく広げる、効果と効率を追い求めるスマートICT機器整備を追求してきましたので、そのような自治体へのアドバイスが可能かと思えます。

その他（表彰歴、国等の委員歴等）

関連URL

<http://campaign.otsuka-shokai.co.jp/appleclip/tc/no14.html>
<http://ict-enews.net/2014/12/02koga/>
<http://ict-enews.net/2015/05/25koga/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

ひがしぼら よしのり
東 原 義 訓

信州大学学術研究院教育学系 教授

略歴

1978, 筑波大学, 第一学群自然科学類物理学専攻卒業
1980, 筑波大学大学院, 教科教育専攻理科教育コース修了(教育学修士)
1981-, 筑波大学(電子・情報工学系、学術情報処理センター) 助手
1995-, 信州大学, 教育学部 助教授
2001-, 信州大学, 教育学部 教授
2014-, 信州大学, 学術研究院教育学系 教授



過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

筑波大学助手として茨城県新治郡桜村(現つくば市)の教育の情報化に携わって以来、北海道から沖縄県まで全国各地の区市町村の教育の情報化に35年間にわたって関わる。最近10年間は主に東京都日野市の教育の情報化に携わり、日野市立平山小学校を2014年度文部科学大臣表彰(情報化促進貢献個人等表彰)に導いた。

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・個別学習支援システムとしてのインタラクティブ・スタディ、協働学習支援システムとしてのスタディノート、一斉授業における協働学習支援のためのスタディネットなどの教育システムの開発および、Study21などのデジタル教材の開発に従事。
- ・ICT活用指導力向上のための教員養成カリキュラム開発・指導体制の構築と実施に従事。

対応可能学校種

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校

対応可能な業務内容

ビジョンの策定から授業作りまで、幅広く、教育の情報化に関わる全般。

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・2003, 日本科学教育学会科学教育実践賞
- ・2005, 日本科学教育学会年会発表賞
- ・2013, 文部科学大臣表彰(情報化促進貢献個人等表彰), 個人表彰

総務省先導的教育システム実証事業評価委員会委員、文部科学省先導的な先導的な教育体制構築事業推進協議会委員をはじめ、教育の情報化に係る多数の委員を歴任。

関連URL

I C T活用教育支援アドバイザープロフィール

ふ く た た か よ し
福 田 孝 義

佐賀県教育委員会 副教育長



略歴

昭和54年3月 九州大学卒業
同年 4月 佐賀県立高等学校教諭に採用
平成14年4月 佐賀県教育庁企画参事室企画主査
平成20年4月 佐賀県教育庁教育政策課参事
平成22年4月 佐賀県教育庁教育企画監
平成23年4月 佐賀県教育庁教育情報化推進室長
平成26年4月 佐賀県教育委員会副教育長(現職)

過去のI C T教育に関するアドバイザー対応実績

- ・佐賀県内市町教育委員会事務局への事業推進に向けたアドバイス(H23～)
- ・各自治体教育委員会事務局、地方議会議員への事業推進に向けたアドバイス(H23～)

これまでの研究活動、I C T教育に関する経験業務

- ・総務省フューチャースクール推進事業、文部科学省「学びのイノベーション事業」実証校事業責任者
- ・文部科学省「先導的教育体制構築事業」及び総務省「先導的教育システム実証事業」実証地区事業責任者
- ・佐賀県「先進的ICT利活用教育推進事業」事業責任者
- ・東大先端研センター「魔法のふでばこプロジェクト」実証地区責任者

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校

対応可能な業務内容

- ・事業推進プランの策定、運営
- ・教員研修(人材育成)
- ・ICT機器の整備
- ・教育情報システムの導入

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・文部科学省「ICTを活用した教育の推進に関する懇談会」委員
- ・文部科学省「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業」実証研究委員会委員
- ・文部科学省「情報教育の推進等に関する調査研究」の企画評価委員会委員並びに技術審査専門委員
- ・文部科学省「『デジタル教科書』の位置付けに関する検討会議」委員

関連URL

http://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1018/ik-ict.html
(佐賀県教育委員会の取組紹介)

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

ふ じ む ら ゆ う い ち
藤 村 裕 一

国立大学法人鳴門教育大学大学院 准教授
遠隔教育プログラム推進室長



略歴

北海道教育大学卒業後、教員、指導主事、東京工業大学大学院社会理工学研究科内地研究員を経て、現職

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・文部科学省先導的な教育体制構築推進事業佐賀県アドバイザー
- ・文部科学省ICTを活用した教育推進自治体応援事業滋賀県草津市アドバイザー
- ・総務省地域情報化アドバイザー(札幌市、仙台市、青梅市、神戸市、宮古島市、青森県、茨城県、滋賀県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県等)
- ・総務省ICT地域マネージャー(月1回派遣)(島根県、札幌市、松江市)
- ・教育スクウェア×ICT教科アドバイザー(秋田県八峰町、新潟県関川村、川崎市、鹿児島県与論町、沖縄県宮古島市)など多数

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

ICTを活用した教育全般

- ・タブレット端末、デジタル教科書・教材を活用した教育
- ・NHKデジタル教材、JST理科ねっとわーく、JAPET&CECネット社会の歩き方などのデジタル教材開発
- ・校務の情報化の全国標準仕様(教育情報アプリケーションユニット標準仕様)の策定責任者
- ・学校情報セキュリティ推奨仕様策定責任者

対応可能学校種

小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校

対応可能な業務内容

ICTを活用した教育全般に関する助言

- ・ICTを活用した授業改善・学校経営改善(タブレット端末等を活用したアクティブラーニング等)
- ・校務支援システムを活用した校務の情報化
- ・学校情報セキュリティ
- ・人間教育としての情報教育(アナログとデジタルの効果的活用、思考力・判断力・表現力の育成等)
- ・情報モラル教育

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・文部科学省「2020年代の教育の情報化に関する懇談会」委員、同スマートスクール構想検討WG主査
- ・文部科学省「情報モラル教育の在り方に関する調査研究委員会」主査
- ・文部科学省・総務省共管APPLIC「教育ワーキンググループ」主査 など多数
- ・ICT CONNECT 21(教育の情報化国際標準仕様策定団体)幹事・技術標準化WG副座長 など多数

関連URL

<http://www.naruto-u.ac.jp/facultystaff/fujimura/jikoshokai.html>
<http://www.applic.or.jp/>
<http://www.japet.or.jp/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

ほ っ た ひ ろ し
堀 田 博 史

園田学園女子大学 教授

略歴

関西大学大学院 総合情報学研究科社会情報学専攻 修了。
2003年には、所属大学の情報教育センター担当部長として、学内外での遠隔授業システムを担当。
2004年から文部科学省の情報教育およびICT活用の普及に関わり、京阪神地区の教育委員会では、授業でのICT活用について助言する。



過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・大阪市学校教育ICT活用事業コーディネータ
- ・備前市ICT活用推進協議会研究協力者
- ・箕面市教育研究スーパーバイザー
- ・(財)パナソニック教育財団専門委員 (2011～2012年・京都府立乙訓高等学校, 2013～2014年・奈良県立奈良養護学校, 2015～2016年・芦屋市立精道小学校)
- ・奈良市教育ICT戦略会議委員
- ・兵庫県ICT利活用実証・研究事業連絡協議会委員

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- <文部科学省関連の報告書>
- ・発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック
 - ・国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究
 - ・フューチャースクール推進事業
 - ・ICTを活用した教育の推進に資する実証事業

対応可能学校種

幼稚園、小学校、中学校、高等学校

対応可能な業務内容

- ・推進計画の策定、効果検証方法への助言
- ・ICT導入時における授業づくりの手法
- ・ICT活用を推進する研修体制づくりへの助言

その他（表彰歴、国等の委員歴等）

- ・文部科学省 研究開発指定校「情報活動・情報科」運営委員 (2004-2008年)
- ・文部科学省「ネットワーク配信コンテンツ活用推進事業」評価推進会議地域委員 (2005-2007年)
- ・科学技術振興機構 社会技術研究開発事業『系統的な「防犯学習教材」研究開発・実践プロジェクト』ITを活用した防犯教育教材のWEBシステム構築グループリーダー (研究代表者・坂元昂) (2007年-2010年)
- ・文部科学省 先導的教育情報化推進プログラム「デジタル指導案を用いたICT機器の活用に資する調査研究」事業調査研究委員・副委員長 (2008-2010年)
- ・総務省 西日本地域におけるICTを利活用した協働教育の推進に関する調査研究フューチャースクール推進事業・有識者 (2010-2013年)
- ・文部科学省「学びのイノベーション事業」指導方法の開発に係る指導助言者 (2013-2014年)
- ・文部科学省「情報教育指導力向上支援事業」協力者会議委員 (発達障害・情報モラル) (2013-2014年)
- ・文部科学省「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業」教員のICT活用指導力向上方法の開発の専門委員 (2014-2015年)
- ・文部科学省「先導的な教育体制構築事業」推進協議会及び新たな学び推進ワーキンググループ委員 (2014-)

関連URL

<http://hotta-lab.info/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

ま す か わ ひ ろ ゆ き
益 川 弘 如

静岡大学大学院教育学領域 准教授
教育学研究科附属学習科学研究教育センター長



略歴

2003年中京大学大学院情報科学研究科情報認知科学専攻博士後期課程修了。博士(認知科学)。2013年4月に静岡大学大学院教育学研究科附属学習科学研究教育センター(RECLS)を立ち上げ、県内外の学校、教育委員会と連携しながら、21世紀型の授業づくりと評価づくりを行っている。

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・授業づくり・研修等(伊東市立東小学校、掛川市立倉真小学校、浜松市立庄内学園、掛川市立大須賀中学校、豊島区立千川中学校、岡崎市立葵中学校、松阪市立三雲中学校、鳥取県立鳥取西高校など)
- ・平成26年度掛川市学校ICT基本計画策定委員会、委員長

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・『21世紀型スキルー新たな学びと評価のかたち』北大路書房, 2014年(編訳, 共著)
- ・「教育における3つの時代の変化」『デジタル社会の学びのかたち 教育とテクノロジーの再考』北大路書房, 2012年(訳)
- ・「インターネットを活用した協調学習の未来へ向けて」『児童心理学の進歩』Vol.53. 189-213, 2014年(共著)
- ・「ICTを活用した21世紀型の新たな授業と評価」『視聴覚教育』, 2015年6月号
- ・「質の高い学びを引き起こす協調学習とICT活用の原則」『学習情報研究』2012年11月号

対応可能学校種

どの校種でも

対応可能な業務内容

- ・主体的協働的な学びを実現するICT活用授業のデザイン、実践、評価の支援
- ・主体的協働的な学びを実現するICT活用授業を学校、地域で推進していく校内研修、教員研修の計画実施支援

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

平成24年度日本教育工学会「協調学習型授業を支える観察評価方法の学習支援」研究奨励賞
平成25・26年度文部科学省「デジタル教材等の制作・流通の促進に向けた試験研究(デジタル教材等の標準化)デジタル教材等の標準化に関する企画開発委員会」委員
平成26年度文部科学省「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業 テーマ1 ICTを活用した教育効果の検証方法の開発」委員
平成26・27年度文部科学省「先導的な教育体制構築事業推進協議会 効果検証ワーキンググループ」委員
平成27年度文部科学省「中央教育審議会生涯学習分科会学習成果活用部会」委員

関連URL

<http://recls.ed.shizuoka.ac.jp/>
<http://connect.ed.shizuoka.ac.jp/masukawa/>
<https://www.facebook.com/hiroyuki.masukawa.5>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

むらまつ ひろゆき
村 松 浩 幸

信州大学学術研究院教育学系 教授
附属次世代型学び研究開発センター長



略歴

長野県中学校技術科教員から三重大学教育学部を経て、2007年より現職。中学校技術科を中心に教員養成を担当。専門は技術教育学で、技術教育に関する著作や論文も多数。主な研究テーマは「技術教育における知財学習」。主な著書に「技術科教育研究(一藝社)」、「知財教育の実践と理論(白桃書房)」等がある。平成24年度TEPIA知的財産事業日本知財学会特別賞、平成27年度科学技術分野文部科学大臣表彰(科学技術賞理解増進部門)はじめ複数の受賞。社会貢献として全国の先生方が利用する技術の教材集サイト「ギジュツドットコム」を運営すると共に、各地のロボコン大会審査や国際大会運営、特許庁の報告書コンテスト審査員、日本産業技術教育学会ロボコン委員会委員長、理事等も担当。

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

ICT活用教育アドバイザー (H27)

- ・公益財団法人パナソニック教育財団専門委員(特別研究推進校の研究アドバイザー)(H27)
- ・富山県総合教育センター「情報モラル・セキュリティ研修会」講師(H26)
- ・岡山県中学校教育研究会情報教育研究大会記念講演(H26)
- ・長野県ICTシンポジウム講演(H26)
- ・文部科学省・ICT活用教育アドバイザー(H27)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

編集代表: 知財教育の実践と理論, 白桃書房(H25)
共著: 教育の情報化と著作権教育, 三省堂(H22)
共著: 中学校国語科での引用指導についての教育効果, 日本教育工学論文誌 (H25)
共著: 中学校技術科のゲーム制作において著作権の権利処理を体験させる知的財産学習の効果, 日本産業技術教育学会誌(H22)
信州大学附属学校園ICT活用連絡会委員(導入計画策定・運用支援)(H26-27)

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校、中等教育学校

対応可能な業務内容

- ・推進計画の策定への助言、効果検証方法、研修計画、ICT導入初期時における全般的事項に対応可能。

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

平成27年度 科学技術分野文部科学大臣表彰、「科学技術賞理解増進部門」
平成24年 第5回TEPIA知的財産学術奨励賞、日本知財学会特別賞
平成22年 日本産業技術教育学会、論文賞

関連URL

研究室サイト <http://www.mura-lab.info/>
技術のおもしろ教材集 <http://www.gijyutu.com/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

も う り や す し
毛 利 靖

つくば市教育局 総合教育研究所 副所長



略歴

2001年、茨城県小中学校教諭を経て、つくば市教委情報教育担当指導主事。市内小中学校の教育の情報化を推進。2012年、つくば市施設一体型小中一貫教育校春日学園教頭。21世紀型スキル習得を目指してアクティブ・ラーニングを取り入れたICTの活用を推進。小中学校統合した校務システムの構築と利用推進。2015年、つくば市教育局総合教育研究所 副所長。市内だけでなく全国で講演。ICT機器の基礎的教育利用からICTを活用したアクティブ・ラーニングの実践、協働学習ツールを活用した21世紀型スキルの習得までICTを活用した授業改善の方法を現場の先生方と一緒に探っている。

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・つくば市内全小中学校52校(協働学習, ICTを活用したアクティブラーニング, 21世紀型スキルの育成)
- ・佐賀県佐賀市立西与賀小学校(一人一台タブレット, 電子黒板の有効活用)
- ・広島県広島市立藤の木小学校(一人一台タブレット, 電子黒板の有効活用)
- ・岡山県新見市立哲西中学校(一人一台タブレット, 電子黒板の有効活用)
- ・福島県新地町立尚英中学校(一人一台タブレット, 電子黒板の有効活用)
- ・千葉県成田市教育委員会(学校間協働学習)
- ・東京都目黒区立目黒第一中学校(21世紀の教育環境で実現する主体的な学び)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・小学生の環境調査活動におけるマルチメディア・インターネットの活用の試み(1998)
- ・「開かれた学校作り」のための校内ネットワークの構築(1999)
- ・情報教育推進のための学校リーダー研修の実際と評価(2000)
- ・ネットワーク構築で同時多数の問題解決学習を行うためのコンピューター・ネットワーク(2000)
- ・海外日本人学校等と連携したデジタルコンテンツの教育活用(2002)
- ・グループウェア連携型モバイル学習システム「スタディノート・ポケット」を利用した授業実践(2005)
- ・理科の実験・観察を支援する「理科デジタルコンテンツ」の活用(2008)
- ・読解プロセスでのモバイル・グループウェアの活用(新しいテクノロジーと学習環境)(2009)
- ・学びを生み出す学校図書館デザイン: 学習理念を体現した学校図書館へ(2012)
- ・ICTを活用した言語力・表現力・思考力・知識理解力の育成(2013)
- ・デジタル思考ツールを活用した論理的思考力の育成(2014)
- ・小中一貫教育を推進するためのICT活用(2014)

対応可能学校種

小学校、中学校、小中一貫教育校

対応可能な業務内容

- ・市町村におけるICT活用ビジョンの策定, 地域の特性を生かしたICT機器導入提案
- ・地域や学校の実態(導入初期～先進的)に応じたICT機器の効果的な利用方法の提案
- ・小中学校における各教科, 総合, 特活, 道徳などでのICTの効果的活動方法を先生と一緒に研究
- ・タブレット, 電子黒板, デジタル教科書の効果的活用の提案, 電子黒板での児童生徒のプレゼンテーション力向上
- ・学校間協働学習, 21世紀型スキルの育成, ICTを活用したアクティブ・ラーニング
- ・小中一貫教育におけるICTの効果的活用方法提案
- ・デジタル思考ツールを活用した論理的思考力の育成
- ・校務用システムの構築と効果的な活用方法提案

その他（表彰歴、国等の委員歴等）

- 2003年・文部科学省「インターネット活用教育実践コンクール」内閣総理大臣賞
「学校の枠を越えた学校間共同学習プロジェクト」つくば市教育委員会担当者
- 2004年・文部科学省「初等中等教育における教育の情報化に関する検討会」委員
・文部科学省「情報化の影の部分への適切な対応に関する調査研究」委員
・文部科学省「ポスト2005における文部科学省のIT戦略に関する調査研究会法制度問題等分科会」委員
- 2005年・文部科学省「e-japan実現型教育情報化推進事業」専門委員
・独立行政法人メディア教育開発センター「教育の情報化の推進に資する研究」委員
・文部科学省「インターネット活用教育実践コンクール」文部科学大臣賞
「理科の体験的活動を深め学力向上をめざすIT活用」つくば市立二の宮小学校担当者
- 2006年・文部科学省「情報モラル等指導サポート事業」「情報モラル教育」普及啓発作業部会委員
- 2007年・文部科学省 優秀教員
- 2010年・総務省フューチャースクール推進事業「ICTを活用した協働教育推進のための研究会」委員
- 2011～2013年・文部科学省「学びのイノベーション推進協議会」小中ワーキング委員
- 2014年・文部科学省「デジタル教材等の標準化に関する企画開発委員会」委員
・総務省「先導的教育システム実証事業」評価委員
・文部科学省「電子黒板を活用した授業実践に関する調査研究」調査研究委員会委員
- 2015年・文部科学省「「デジタル教科書」の位置付けに関する検討会議」委員
・総務省「先導的教育システム実証事業」評価委員

関連URL

- | | |
|---|------------------------------------|
| http://www.tsukuba.ed.jp/~4c/ | つくば市4C学習 |
| http://www.cec.or.jp/e2a/seika16/contents/09/frame.htm | 「確かな学力を向上させる学校と家庭を結ぶネットワーク」 |
| http://www.javae.or.jp/archive/netcon/piece_data/2003_pdf/1.pdf | 学びを変えるネットワーク 学校の枠を越えた学校間共同学習プロジェクト |
| http://www.cec.or.jp/mtm/about/meister/mouri_yasushi/ | マイタウンマップマイスター |
| http://www.kknews.co.jp/maruti/news/2014/0804_2a.html | 教育委員会対象セミナー・タブレットは社会を変えるツール |

I C T活用教育支援アドバイザープロフィール

やまもと けい さ く
山 本 圭 作

大阪市教育委員会
事務局 学校経営管理センター
課長代理



略歴

H23年度に事務局内に学校業務軽減検討部会を設置、責任者として現場調査・課題分析を行い、H24年度から校務支援ICT活用事業をスタートさせた。H25年・26年度に試験導入校(31校)による校務支援システムの効果検証結果を公表。以降、文部科学省や全国の教育委員会等より「全校・全教員が使う仕組みづくり」や「事業のPDCAマネジメントサイクル」について講演要請を受け、セミナー活動等も実施中。現在は、システム活用による学校運営・経営の変革をめざすとともに、教育ICTとの連携など本事業の新たな価値の創造にも取り組む。

過去の I C T 教育に関するアドバイザー対応実績

文部科学省関係

これまでの研究活動、I C T 教育に関する経験業務

文部科学省関係

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- 校務の情報化に関すること
 - i 校務の情報化を推進するに当たっての課題や留意事項等
 - ii 校務の情報化の推進に関する教員・庁内(首長・財政部局等)の理解促進活動を行うに当たっての課題や留意事項等
 - iii 校務の情報化の推進に当たっての情報セキュリティの在り方等
 - iv 校務支援システムの整備計画を策定するに当たっての課題や留意事項等
 - v 校務支援システムの調達(見積もり・仕様書作成等)に係る課題や留意事項等
 - vi 校務支援システムの運用や評価に当たっての課題や留意事項等
 - vii 校務支援システムの活用促進に当たっての課題や留意事項等

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

○H28年度 2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会 スマートスクール構想検討ワーキンググループ委員

関連URL

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kvoiku/0000278060.html>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

やまもと ともひろ
山本 朋 弘



鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター 講師

略歴

平成2年～17年 熊本県内公立小学校教諭
平成10年 東京工業大学 大学院社会理工学研究科 国内留学(1年間)
平成17年～22年 熊本県立教育センター 指導主事
平成22年～27年 熊本県教育庁教育政策課 指導主事、主幹
平成27年10月～ 鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター 講師

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

熊本県内の山江村・高森町・人吉市のICTアドバイザーとして共同研究を支援する。
九州管内の小中学校の校内研修年間3回程度を継続的に助言。
金沢県、高知県、沖縄県の教育の情報化に関連する自主研究会で助言。

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

『「校務の情報化」で学校経営がこう変わる』教育開発研究所、2015年
『タブレット端末を活用した21世紀型コミュニケーション力の育成』フォーラム・A、2015年
『「校務の情報化」入門』教育開発研究所、2012年
『コミュニケーション力指導の手引』高陵社、2012年
『管理職のための「教育情報化」対応ガイド』教育開発研究所、2010年

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- ・授業でのICT活用に関する好事例の紹介、陥りやすい失敗例での留意点等を解説。
- ・教員のICT活用指導力向上に関する教員研修(校内研修)の進め方への助言。
- ・教育の情報化に関する推進計画の策定への助言。
- ・ニーズに対応したICT機器の選定・調達等、導入から運用でのマネジメントの助言。
- ・教職員の負担感を軽減するための校務の情報化の在り方についての助言。
- ・ICT活用の教育効果に関する検証方法、評価手法への助言。
- ・情報モラル教育に関する家庭・地域との連携への助言。

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

文部科学省「先導的な教育体制構築事業」推進協議会委員(H26)
文部科学省委託事業「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業」専門委員(H26)
文部科学省委託事業「情報教育の推進等に関する調査研究事業」における問題作成委員(H25～H26)
文部科学省「学びのイノベーション推進協議会」検討委員(H23～H25)
文部科学省「教育の情報化に関する手引」検討委員(H19～H20)
文部科学省「教員のICT活用指導力の基準の具体化・明確化に関する検討会」(H18)
日本視聴覚教育協会「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究」委員(H23～H24)
日本教育情報化振興会「21世紀型コミュニケーション力育成プロジェクト」委員(H21～)
メディア教育開発センター「教員研修Web総合システムに関する開発研究」委員(H19,20)

関連URL

<https://www.facebook.com/tomohiro.yamamoto.94>
<http://tyamamot.sakura.ne.jp/mod/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

りん こう た つ
林 向 達

徳島文理大学人間生活学部児童学科 准教授



略歴

- 1997年3月 名古屋大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士前期課程修了
教育学修士
- 1997年4月 岡崎女子短期大学
- 2009年3月 東京大学大学院 学際情報学府 文化・人間情報学コース修了
学際情報学修士
- 2009年4月 徳島文理大学 短期大学部
- 2015年4月 徳島文理大学 人間生活学部 児童学科

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・総務省「フューチャースクール推進事業」徳島実証校担当研究者(平成22年度)
- ・大阪市「学校教育ICT活用事業」コーディネーター(平成26年度)

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・学習ソフトウェア情報センター主催「学習デジタル教材コンクール」審査員(2007年～)
- ・ベネッセ教育開発研究センター「子どもICT調査」委員(2008年)
- ・『わたしの情報活用』学術図書出版(2003年・単著)
- ・稲垣忠編訳『デジタル社会の学びのかたち』北大路書房(2012年・共訳)
- ・教育と情報の歴史研究会(2014年～)
- ・日本教育工学会「教育の情報化」グループ・整備ガイドライン編集長(2015年)

対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校、小中一貫校、中等教育学校

対応可能な業務内容

(学校向け)
授業や学習におけるICT活用の検討や計画への助言等。機器の機能や使い方に関する知識の伝達や演習の講師

(自治体・教育委員会向け)
ICT環境整備に関する国内動向を踏まえたプラン策定全般への助言等。教育・学習とICTに関する講演等の講師

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・文部科学省「学びのイノベーション事業」指導方法モデル等検討会構成員(2012年)

関連URL

<http://www.con3.com/rinlab/>
<http://ict.edufolder.jp>
<http://hei.edufolder.jp/>

ICT活用教育支援アドバイザープロフィール

わたべあきら
渡部 昭

墨田区教育委員会
教育情報化推進専門員



略歴

- ・千葉大学教育学部卒業
- ・立教大学 21世紀社会デザイン研究科修了
- ・墨田区立堅川中学校校長
- ・墨田区立鐘淵中学校校長
- ・墨田区立文花中学校校長
- ・元東京都中学校視聴覚教育研究会会長
- ・慶應義塾大学SFC研究所上席所員(平成24年～)

過去のICT教育に関するアドバイザー対応実績

- ・平成27年度 大田区立北糶谷小学校「ICT活用推進モデル校」指導助言者
- ・平成28年度 大田区立蒲田中学校「ICT活用推進モデル校」指導助言者

これまでの研究活動、ICT教育に関する経験業務

- ・平成22年度より現在まで、教育委員会でICTの整備と教員のICT活用研修会の企画運営に携わっている。

<事例発表>

- ・平成20年度「NEW EDUCATION EXPO」にて事例発表
- ・平成21年度「教育の情報化フォーラム(CEC主催)」にて事例発表
- ・平成22年度「NEW EDUCATION EXPO」にて事例発表
- ・平成27年度「教育ITソリューションEXPO」にて事例発表

『ICT教育100の実践・事例集』(フォーラムA) 分担執筆

『電子黒板・デジタル教材活用事例集』(教育開発研究所) 分担執筆

対応可能学校種

小学校、中学校

対応可能な業務内容

- ・モデル事業の計画作成
- ・ICT活用推進を図るための管理職、主幹教諭、ICTリーダー等の教員研修の策定・実施
- ・ICTスキルを向上させるための教員研修の策定・実施
- ・授業への導入事例及びICT活用の普及の方策

その他(表彰歴、国等の委員歴等)

- ・平成18年度 文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」調査委員
- ・平成19年度 文部科学省委託事業「先導的教育情報化推進プログラム」実施委員
- ・平成21年度 視聴覚教育・情報教育功労者『文部科学大臣表彰』
- ・平成26年度 文部科学省「電子黒板を活用した授業実践に関する研究」調査委員

関連URL